

単独運転防止方式の概要

メーカー名	JX日鉱日石エネルギー(株)	同様の方式を採用している形名	F61A701A002(山洋電気) ※システム型名:FCP-070CPC2, FCP-070CNB2
形名	F61A701A002		

項目	受動的方式	能動的方式
1. 方式名称	位相跳躍検出	周波数シフト
2. 基本原理	単独運転時に出力の不均衡による電圧位相の変化を検出する。	出力電流周波数を上昇側と下降側とを交互にバイアスを与え、連系点の周波数の変化を検出する。
3. 回路方式 または 制御フロー	<p>系統電圧の1サイクル毎の周波数を計測する。 10サイクル前の平均値と現在値の比較を行い、異常と判断した場合、別の1サイクル毎の周波数と現在値との比較を行う。 その結果、全ての比較結果が異常となった場合には位相異常とし、インバータ出力を停止(ゲートブロック)する。</p>	<p>系統電圧波形の100msec毎の周波数を計測する。 300msec前の周波数と現在の周波数を比較し、その差の絶対値が閾値を連続して越えた回数をカウントする。 その回数が所定の回数を超えた場合に単独運転と判断し、インバータ出力を停止(ゲートブロック+リレー解列)する。 以下に出力周波数へのバイアスのフロー図を示す。</p>
4. 整定範囲	±3度、±4度	0.5Hz固定
	出荷時整定値 ±4度	出荷時整定値 0.5Hz固定